# いきいき はにゅう シルバーだより

公益社団法人 羽生市シルバー人材センター
〒348-0053　埼玉県羽生市南 5 丁目 19-5
電話 048(563)3680　FAX. 048(563)3616
E-mail　hanyuu@sjc.ne.jp
企画･編集　広報委員会

センターの基本理念
**自主 自立 共働 共助**

**本号の主な内容**

2面・・第２回理事会報告
事務局からお知らせ
3面・・第８回シルバー祭りを開催します 11/17(日)、於・ パープル羽生
「フレイル予防教室」をひまわり倶楽部が自主開講
4面・・就業先訪問⑭　植木剪定・飯田班（パープル羽生構内）

## 熱中症　会員の予防努力、安全巡回などに成果

この夏も日本列島は長期間、猛烈な暑さに見舞われました。猛暑が続く中、会員は就業地に飲料などを携行、予防努力を怠らず、また役職員は安全パトロールを実施し、熱中症予防啓発に努めました。事務局はこのほど、今夏の安全活動や事故状況をまとめ、今後の活動に供することとしています。

**夏季安全巡回と熱中症**

夏場恒例の安全巡回は7月5日から9月11日までの15日間、理事・事務局職員ら延べ43名が交代で就業先58ヶ所、会員148名を対象に、熱中症予防の呼びかけ、見回りを行い、就業会員一人ひとりに梅干しや塩飴を配り、体調などをチェックして回りました。

気温が常に30℃を超える中、就業会員は休憩を適時とり、持参飲料で水分・塩分を補給。また仲間に気配りするなど、熱中症の防止に努めました。

**就業会員**（中央）**と巡回の理事・事務局職員** ＝7 月 11 日、東京インキ（株）

一方、発注者である企業や民間の方々も、会員の就業時間の前倒し、こまめな休憩にも理解を示し、また単独作業者への気配りなど熱中症の未然防止にご協力くださいました。

それでも連日の猛暑、熱中症疑いが屋外就業で1件発生。炎天下、駐車場案内を担当していた会員が自ら体調の異変に気付き、病院へ急行、大事に至らず、2日間の入院を経て退院しました。

**蜂刺され被害**

当該期間中、草取り班会員はスズメ蜂に刺される被害を受けました。草刈・植木剪定会員からもそれぞれ蜂刺され被害が報告されています。

蜂刺されは近年増加の傾向にあり、駆除スプレーの携行、作業手順の見直しなどを図る必要があります。

**交通事故、その他**

**就業途上の交通事故が2件。** 草取り作業中に転倒し、手首の打撲。剪定時のバリカンによる手指裂傷・骨折など4件の傷害事故が発生しました。

**賠償保険適用事故**

草刈機使用中に小石飛散による駐車車両の窓ガラス破損事故が**2件**発生。両件ともセンターが加入する「総合賠償責任保険」を受けました。

## 秋のセンター行事

**ボランティア活動にご参加下さい！**

### ①街なか清掃活動

日　時　10月28日（月）午前9時～
集合場所　パープル羽生 第1研修室
参加申込　事務所あて10月25日までに
※なるべく自転車か徒歩でお越し下さい。
※小雨決行です。

### ②キャッセ羽生清掃活動

日　時　11月10日(日)午前8時30分
集合場所　キャッセ羽生 イベント広場
参加申込　事務所あて10月25日までに
※草刈鎌、有資格者は刈払い機をお持ちください。
※駐車場は県営水族館をご利用下さい。
※小雨決行です。

**センター「ポイントカード」をお忘れなく！**

センターのボランティア活動に参加された会員にポイントを付与します。カードを忘れずにお持ちください。当日のみ、会場受付にて捺印します。

## 令和元年度 理事会報告

**第2回 理事会**　令和元年9月27日（金）
女性センター研修室

**■議　事**

▽議案第5号
会員の入会承認について
（5月11日～9月6日）

▽議案第6号
理事の競業取引および利益相反取引の報告および承認について

▽議案第7号
**収支補正予算**について

**■報告事項**

①収支流用予算注記（第1号）について
②**消費税**について

**■その他**

①シルバーまつりについて
②商工まつりについて

## 議事用語の解説

**収支補正予算**

年度の途中に、「当初予算」を補う形で組まれる予算のこと。「補正予算」は突発的な自然災害対策や著しい社会情勢の変化など、新たな財政需要が発生したときに編成される。センター事務局経理責任者が補正予算案を作成し、理事会で審議された上で成立する。当初予算と補正予算を合わせた金額が当該年度の最終的な予算となる。

今回の補正予算は、老朽化している事務所屋根の修繕工事費支払いに充当するもの。当初の予算額に加算した。

**消費税と配分金**

10月1日から消費税が改定施行され、8％から10％（軽減税率を除く）に増税となった。

ところで、会員が受け取る配分金には従来から消費税分が含まれており、「請負・委任」形態は内税、「派遣」は外税方式となっている。

これにより、就業会員の「基準単価」が11月支払い分から増税分2％が配分金に上乗せされ、1時間当たり16～20円のUPとなる。（UP額は就業職種や技能ランク等により異なる。最低賃金の改定に伴うものではない。

## 事務局からお知らせ

**■新入会員のご紹介**

令和元年度第2回理事会で入会の承認を受けた新入会員9名の皆さんです。よろしくお願いいたします。（5月11日～9月6日）

大場　忠秋　さん（藤井上組）
立川　恒春　さん（東）
田中　禮子　さん（南羽生）
大場　幸子　さん（藤井上組）
木村　　実　さん（東）
奥山　玲子　さん（中央）
矢島　孝子　さん（中央）
根岸　一男　さん（今泉）
渡辺　一子　さん（南）

**■配分金の支払い日**

| 月 | 日（曜日） |
|---|---|
| 10 | 21（月） |
| 11 | 21（木） |
| 12 | 20（金） |
| 1 | 21（火） |
| 2 | 21（金） |
| 3 | 19（木） |

**■就業者募集**

センターでは事務所内に「求人情報」を貼り出し、就業者を募集しています。
・時間に余裕のある会員は応募下さい。
・この情報を友人・知人（未入会者）に伝え、センター入会をお勧め下さい。

**就業者募集情報**　（R1.10.18現在）

| 仕事の内容 | 就業時間・機会 | 区分 | 備考 |
|---|---|---|---|
| コンテナ解体 | 7.5 h/日、3日/週 | 請負 | 男2名　K |
| トイレ掃除 | 3 h/日、2日/週 | 請負 | 女　H |
| 会社内掃除 | 3 h/日、2日/週 | 請負 | 女　M |
| 清掃・片付け | 1.5 h/日、2日/週 | 請負 | 男　B |

※詳細をお知りになりたい方は直接事務所に来所、または電話でお問合せ下さい。なお、就業者が決定済の場合あり。

**■「商工祭り」でセンターをPR**

11月3日（日曜、文化の日）に当センターは、プラザ通り歩行者天国を中心に開催される市商工会主催の「商工祭り」に参加、来場される市民にセンターPRのチラシ配りやアンケート調査を行う予定です。

**■シルバー祭り　運営協力者を募集！**

11月17日（日）、第8回シルバー人材センター祭りを開催します。現在、センターでは開催準備や当日の運営協力者を募集中です。▼3面参照

**■センター職員人事**（10月1日付）
▽採用　臨時職員（派遣開拓員）
**伊藤　万友美**（いとう まゆみ）

◇会員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

全シ協キャッチフレーズ
**生きがいと地域のニーズを結びます**

**お詫びと訂正**

本紙前号3面、地区班長表彰の記事中、受賞会員の担当地区に誤りがありました。（チェック不足による）お詫びして次の通り訂正します。
笹生栄一さん（南羽生）、高野勝幸さん（中央）、橋本勝一さん（村君）

# 第8回 シルバー祭りを11月17日(日)に開催します

会員同士のさらなる親睦と市民の方々との交流を図って、楽しい一日を過ごしませんか。

会員の皆さんの活躍や多くの来場者で賑わい、盛り上がりを見せてきた「シルバー人材センター祭り」がこの秋約2年ぶりに復活します。

軽快なリズムにのせて･･･市民グループの皆さんによる華麗なフラダンス

昨年、一昨年と諸般の理由で開催を中止したシルバー祭り。第8回となる今回は、時期を秋に繰り上げて開催します。

祭りの内容は現在、事務局が中心となり鋭意企画検討中です。内容や規模は従来に比し、やや簡素化の方向で進めています。

現在までのところ、催しものは、当センターが試験栽培中の「野菜」の販売に加え、他SCの「協賛出店」、女性会員が調理するおいしい昼食の提供(有料)、市民グループの皆さんによる「フラダンス」、賞品が盛り沢山、高確率で当たる「お楽しみ抽選会」などを計画しています。ご期待ください。

会員の皆様やご家族、お友だちなど多くの方々のご来場を心からお待ち申し上げます。お誘いあわせの上、是非お出かけください。

**シルバー祭り開催要項**

**開催日時**　令和元年11月17日（日）
午前10時～午後3時

**会　場**　パープル羽生
（羽生市女性センター）

※当日の天候や出演者・会場の都合などにより、内容の一部が変更または中止となる場合があります。
※詳しくは後日、皆様に改めてご案内いたします

## ひまわり倶楽部 が フレイル予防教室 を受講

一般に、健常者であっても年齢が進むにつれ「虚弱」状態となり、やがて要介護の状況に陥るものです。「フレイル（fraity）」とはこの要介護前の「虚弱状態」を言い、それを予防することによって健康な状態をより長く維持できるとされます。

フレイルを予防するには、**栄養**＝食事を取ること。**体力**＝適度に運動をすること。**社会**＝行事などに参加し、皆と交流すること　などが効果的であると言われています。

日頃、活発に活動を続けるひまわり倶楽部は、9月26日、午後1時半よりパープル羽生を会場に、「フレイル予防教室」を開催。

講師は、県内SCの中でも早期にフレイル予防に取組んでこられた加須市シルバー人材センター会員である「健康づくりサポーター」3名の皆さんと帯同職員1名＝**写真**。彼女らはひまわり倶楽部の出席会員15名に熱心にご指導くださいました。

教室は「健康チェック」からスタート。出席会員は「体力」・「栄養」・「社会」からの15問にチェック。講師は、回答者の現在の「健康度」やフレイル予防の重要性を分かり易く説明されました。

サポーターが作製された多くの図表と、いきいき埼玉が発行する冊子「フレイル予防で健康寿命をのばそう！」はとても解り易く、理解を早めました。

また、会員は1、2、3の号令に合わせ肩甲骨や股関節、下肢など主要部位のストレッチ（筋を伸ばし身体を柔軟にする運動。負荷をかける「筋トレ」とは異なる）を1時間半にわたり指導を受け、爽やかな汗を滲ませていました。

身体各部の筋肉を無理なくゆっくりとほぐす。健康で活動的な会員は常に若々しい。

ひまわり倶楽部が今般習得したフレイル予防の知識や体操は健康長寿に大いに役立つことから、ご家庭はもちろん、当センター会員への普及に大きな期待が寄せられています。

## 就業先訪問⑭　パープル羽生 構内
### 植木剪定　飯田班

まだ暑さが残る9月中旬、休館日の「パープル羽生（市女性センター）」を訪れた。

門柱の傍らでは飯田馨班長が松の剪定に余念なく、裏庭・築山のツツジを橋本勝一会員が半球状に刈り込み、東南角の高木メタセコイア樹上で蓮見正昭会員が胴綱をしっかり装着し、剪定鋏で枝切り。3名の会員がそれぞれの持ち場で熱心に作業していた。

植木剪定は大半が高所での作業となり、転落や切創などの危険がつきまとう。傍らに駐車した彼らの軽トラ荷台には、作業工具や安全具が満載されており、その器具類を飯田班長と橋本会員が休憩時間を惜しまずに説明してくれた。

### 事故防止と便利ツール

彼らが常用する安全・便利工具は多数ある。紙面の都合上、2～3紹介する。

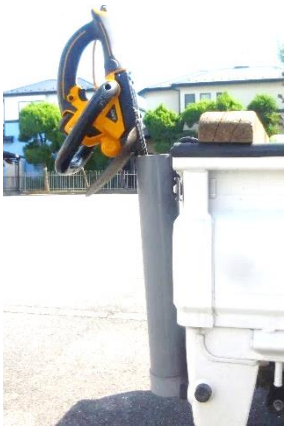
まずは「ハサミ置き」。刃先が下向きの「ハサミ立て」＝**写真①**だ。過去に他市で、刃を上向きに立てかけた刈込みハサミ上に会員が三脚から落下、重篤事故となったことを教訓に、ハサミの仮置き姿勢や置場を見直しした。

**写真①　ハサミ置き。三脚に仮置きできる**

次に、「三脚横転防止バー」＝**写真②**。バーは伸縮式、両端の強固な掛金具で三脚頂部と木の枝元をガッチリ連結、三脚の左右の横揺れ・転倒防止に有効だ。ロープで剪定木に縛りつける方式に比べ、段取りが容易で、剪定作業も安全かつ広範に行える。

「ヤニ洗浄器」＝**写真③**は直径10㎝×深さ40㎝ほどの塩ビ製容器。水を満たしたこの容器に電動ヘッジトリマー刃部を浸漬しておくと、刃部に付着したヤニや樹液を溶解し、固化の防止になり、切れ味を低下させない。トリマー2機を対面浸漬可能。軽トラのあおりなどに簡単に取り付けできる便利ツールだ。

**写真②　斜め上方に架けた三脚横転防止バー。伸縮式ゆえ、三脚の位置調整が容易、剪定作業が効率的**



**写真③　軽トラに掛けた「ヤニ洗浄器」**

### 反省と教訓化と

彼らは自らが経験したヒヤリハットや見聞したことを脳裏に刻み、対策を練り、非番の日にこれら安全具や補助具の改良に取り組む。言葉だけが独り歩きすることはない。

全員が事故防止に努め、また剪定のスキルUPを図りお客様の満足度向上を目指す飯田班。今日も就業先で小気味よい剪定音を響かせている。

## 編集後記

▼関東、東北に甚大な被害をもたらした台風19号。記録的な大雨・強風は河川の氾濫や土砂災害を引き起こし、多くの尊い命を奪いました。当時、テレビは特別警報「命を守る行動を」と頻繁。状況に応じた災害回避行動とは、瞬時の判断と実行だが…。

▼台風の翌日早朝、外に出たらモクセイの香りが辺りを包んでいました。夏が長引き、満を持しての開花でした。冷気に混じったその香りは、季節の変わり目をそっと教えてくれます。当然に数日間の期間限定で。

▼朝ドラ、「なつぞら」が9月末に終了。東京で戦災孤児となった女児「なつ」が、北海道の開拓酪農家に育てられ成長、養父の開拓者魂を受け継ぎ、やがて東京でアニメーターとして活躍…このドラマで懐かしい方言をククに。「ふるさとの訛り懐かし停車場の人込みの中にそを聴きに行く」（啄木）

▼年末まで残り2カ月余り、瞬く間の1年です。日々の就業やボランティアなど意義ある社会貢献活動に大変お疲れ様でした。また、本紙のご愛読、ご協力もありがとうございました。

皆様のご健康とご多幸を祈念致します。（M）

**本紙をフルカラーでご覧になれます！**

ネット接続したパソコンをお持ちの会員は当シルバー人材センターホームページ「情報公開」より、「シルバーだより既刊号」をフルカラーでご覧頂くことができます。